

たなかクラブだより 令和2年8月号

コロナの影響で中止となった今年3月の関東中学校選抜大会は卓球王国主催で、「卓球王国杯」として代替大会が千葉県東金市東金アリーナで開催されました。神奈川県大会準優勝の鴨宮中学男子チームは「出場できることに感謝して全力で戦う」ことを皆で話し合っって千葉県に出発しました。

出場チームは少なかったものの、さすがに各県代表チーム同士の戦いだけあってレベルの高い熱戦が繰り広げられました。鴨宮中は厳しい予選リーグを接戦で勝ち抜き決勝トーナメントに進出しました。そして準決勝で千葉県1位の栄中と対戦。鴨宮中2-3栄中(千葉県)の大接戦で敗れましたが念願の3位入賞を果たすことが出来ました。

予選リーグから決勝トーナメントの準決勝まで勝っても負けても全て3-2の接戦が選手たちが全力で戦った証です。この厳しい環境の中で大会を開催して頂いた大会関係者の皆さん、出場を認めて頂いた鴨宮中学校校長先生、感染防止対策など協力して頂いた保護者の皆さん、その他たくさんの皆さんに心からお礼を申し上げます。



田中監督 小林祐太 伊東幹人 涌井颯輝 萩野智弥 鍛代龍吾 浅利拓哉



順位	選手名	対戦相手	結果
1	涌井	栄	3-2
2	萩野	栄	3-2
3	浅利	栄	3-2
4	鍛代	栄	3-2
5	伊東	栄	3-2

特注のTシャツとウチワを作って熱い応援をして頂いた保護者と選手の喜びの表情 準決勝鴨宮中2-3栄中(千葉)

素晴らしい内容で3位入賞

このチームの選手たちは各大会中止が決まった後も7月末の引退の日まで全力で練習することを決めて実行していました。そのような中で思いがけず大会開催が決まり、最後に頂いたチャンスに対してチームが一丸となって挑戦しました。

この日はエース涌井君が全勝の大活躍でした。そして、試合ごとにヒーローが変わる総力戦で全て3-2の大接戦でした。

予選リーグ1勝1敗で、最後の対戦チームは2勝している強豪立川7中(東京)でした。この試合で2-2となった場面で、鍛代君は相手の主力選手に2セット先取されましたが、最後まで諦めずに強気の試合で逆転勝ちしました。この試合は彼の今までの試合の中でベストゲームでした。そして、この勝利で予選リーグ1位となり決勝トーナメント進出を決めました。

また、決勝トーナメント準決勝で2番に出場した萩野君は、相手のエースに対して積極的に攻めて3-1で勝ちました。この試合も彼の中のベストゲームで、今後につながる試合でした。

この日は選手も保護者も満足した幸せな一日でした。



準決勝対栄中戦 手前から浅利・萩野・涌井

ターニングポイント

この大会は3年生中心で戦う事を事前に決めていたが、予選リーグ最終戦を前に、最後まで3年生で戦うか、それとも勝ちにこだわって決勝トーナメント進出を狙うかをミーティング。その結果、勝つことを優先することが決まり、出場した2年生の伊東君は期待に応えて変則タイプに前陣強打で打ち勝ちチームも勝ちました。